

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	135青少年の健全育成		
施策のねらい(めざす姿)	青少年が、社会性や社会規範を身につけ、自己を確立し、協調性や連帯感を育んでいます。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	青少年の健全育成と非行防止を図るため、学校、警察、関係機関等との連携を強化する。	③改革・改善内容	青少年健全育成活動に携わる指導者の養成に努め、特に青少年に年齢の近い青年層の指導者の発掘を図る。
②①に基づく取り組み結果	青少年育成推進会議、子ども会などの青少年健全育成団体と協働で青少年健全育成事業を実施する他、各中学校ネットワーク会議や学校警察連絡協議会等で情報共有を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	青少年	意図(対象をどうするのか)	青少年の社会性や社会規範を身につけ、生きる力を育成する。
②施策の概要	青少年が健やかに「生きる力」を育むと共に青少年が安全に安心して暮らせる環境を整備する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	情報通信機器の急速な普及により青少年のコミュニケーション能力が不足しており、またそれらを利用した非行行為が増加傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	青少年相談員や青少年育成推進委員会が各中学校区毎に健全育成事業を実施する他、青少年の社会性、自主性を育む事業を展開した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	地域見守り活動従事者数(延べ)	人	1,030	962	1,187	1,250
	ii	ジュニアリーダースクラブ新規加入者数	人	5	8	8	3
	iii						
③基本事業成果指標	i	青少年団体会員数	人	1,208	1,260	1,289	1,272
	ii	青少年社会参加・体験活動参加者数	人	8,155	10,240	8,959	5,000
	iii	街頭補導従事者数	人	1,030	962	1,187	1,250
	iv	「おやじの会」等設立数	団体	7	7	7	9
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	15,649	15,070	(単位:円)	139	円		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	青少年健全育成団体への青少年の加入状況が減少する中、青少年健全育成について市民への啓発と指導者の発掘が必要となる。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	青少年健全育成事業に中学・高校生などのボランティアを活用するなどの取り組みを行った。

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費		
④上記方向性の説明	情報通信機器の普及により青少年のコミュニケーション能力の低下などから青少年に様々な直接的な体験活動を通して青少年の「生きる力」を育成する必要がある		